

甲子園、活躍誓う

大垣日大野球部が抱負

県 庁

第99回全国高校野球選手権岐阜大会で優勝し、3年ぶり4度目の夏の甲子園出場を決めた大垣日大野球部の選手らが31日、県庁を訪れ、古田肇知事に抱負を語った。

岐阜大会決勝では、中京学院大中京高を6

―3で下した。県庁には阪口慶三監督、柴田修平主将(3年)、小森年展部長、古田健二校長が訪れ、古田知事や松川禮子教育長らと面談した。

柴田主将は「厳しい練習を重ねてきた。それが間違いないでなかった」と振り返り、阪口監督は「執念の優勝。甲子園でも良い形で勝ち、流れに乗りたい」と意気込んだ。古田知事は「優勝旗が見たい。勝ち抜いてくれることを楽しみにしている」とエールを送った。

全国制覇へ力つけて

J A全農岐阜 J Aにしみの 県産農畜産物贈る

J A全農岐阜とJ Aにしみのは31日、第99回全国高校野球選手権大会に出場する大垣日大高校野球部に米や飛騨牛など県産農畜産物を贈った。

贈ったのは米100キ、飛騨牛10キ、海津産メロン20個、飛騨トマト40キのほか、練習グラウンドがある安八郡神戸町産の小松菜60袋、グリーンねぎ60袋など。

同町末守の同校桜神寮で贈呈式があり、J A全農岐阜の足立能夫運営委員会会長、J Aにしみの小林徹組合長、地元の下宮青果部

会協議会の和田光正会長が「しっかり食べて甲子園で日頃の練習の成果を出して」と柴田修平主将、古田健二校長に目録などを手渡した。

柴田主将は「感謝の気持ちを忘れず全国制覇を目指す」と意気込みを語った。

(小田香緒里)



古田肇知事(中央)に甲子園大会への意気込みを語った大垣日大高の選手ら＝県庁



甲子園での健闘を祈り J A 関係者から県産農畜産物を贈られた大垣日大高校の古田健二校長(右から3人目)ら＝安八郡神戸町末守、同校桜神寮

祝 甲子園出場 大垣日本大学高等学校